

## 地域人材ネット

### 2015年売木村・愛知大学共同研究事業 「売木村観光ビジョンの推進と地域づくりプロジェクト」

黍嶋 久好 ( きびしま ひさよし )

愛知大学 三遠南信地域連携研究センター 研究員/愛知大学講師



#### ○ 登録者情報

##### 所在地

愛知県豊橋市

##### 略歴

- \*1988年(昭和63)～2009年(平成21):国土庁、国土交通省「地域振興アドバイザー」
- \*1996年・1997年(平成8・9)、2000年(平成12)～2010年(平成22):国土交通省・若者の地方体験交流支援事業(地域づくりインターン事業)企画運営委員
- \*2002年(平成14)～2003年(平成15):総務省自治行政局過疎対策室「高度情報化の進展を踏まえた過疎地域集落の強化に関する調査(地区力点検)」委員会委員
- \*2005年(平成17)～2009年(平成21):愛知大学社会連携研究推進事業「地域づくりガイドライン・評価システムの開発に関する研究」事業責任者
- \*2006年(平成18)～10年(平成22):豊橋技術科学大学・愛知大学特別教育研究推進連携融合事業「県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プラン」人材育成・意識啓発アクションプログラム開発部会長
- \*2014年(平成26):愛知大学三遠南信地域連携研究センター「県境中山間地における越境連携・交流の実態に関する調査」共同代表
- \*2015年(平成27):長野県売木村まち・ひと・しごと創生有識者委員会会長
- \*2013年(平成25)～:NPO法人三遠南信アミ理事長 ※受賞歴 なし

## 著書・論文等

- ・三遠南信地域連携ブックレット『人をコンテンツにする地域づくり』共著、2016年、愛知大学三遠南信地域連携研究センター
- ・『越境地域政策への視点』共著、2014年、愛知大学三遠南信地域連携研究センター
- ・『都市・地域・環境概論』共著、2013年、朝倉書店
- ・『県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プラン』県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プラン研究会・共著、2011年、豊橋技術科学大学地域協働まちづくりリサーチセンター
- ・『若者と地域をつくる』共著、2010年、原書房
- ・『三遠南信地域づくり読本』愛知大学三遠南信地域連携センター・共著、2010年、あるむ
- ・三遠南信地域連携ブックレット「小さな自治を育てる」共著、2006年、あるむ
- ・「三遠南信地域の観光・地域資源を活用した地域ツーリズムの形成」単著、2015年、愛知大学中部地方産業研究所
- ・「県境山村地域への外部人材移入施策に関する一考察」単著、2014年、愛知大学中部地方産業研究所
- ・「三遠南信地域の非営利活動と中間支援組織」単著、2013年、愛知大学中部地方産業研究所

## ○ 2015年売木村・愛知大学共同研究事業 「売木村観光ビジョンの推進と地域づくりプロジェクト」

### 取組の内容

平成26年度に策定した「売木村観光ビジョン」の具現化に向けて事業調査・研究を大学・学生と村の人の参加により行い、現地調査、地域資源、地域の魅力等の発掘から、「600人の観光・村づくり」方策を推進することを目的としています。

#### (1) 観光資源調査の実施

平成27年度で予定されている催事に関して、現地でのイベント調査(来訪者、村民へのヒヤリング、参加活動による把握等)及び分析をしています。

(2) 現地調査での対象イベントは、次の月別催事としました。5月: 春色感謝祭(5/17)、6月: 田舎塾(6/13・14)、7月: 8月: 田舎塾(8/29・30)、9月: 運動会(9/19)、10月: マラニック(10/12)、11月: 秋色感謝祭(11/1)、12月: 1月: 現地報告会、2月: 売木村文芸祭(2月28日)です。

#### (3) 売木村での共住者の状況調査

600人の村人のうち、165名が移住(共住)者であり多様なキーパーソンがいる。この方々の連携・協力、地域(集落)との関わり状況等のヒヤリング及び交流集会を行いました。

(4) 売木村の7地区(集落)の地域活動に参加し、交流等の関与・観察調査を行いました。

(5) 売木村観光モデルコースを観光ボランティアガイドさんと踏査を行いました。

(6) 観光事業者及び地域団体の方々とのワークショップを開催しました。(3回)

(7) 先行事例地(村外)での学習に同行し支援を行いました。(1回、行政関係者、地域おこし協力隊、住民等)

## 実績

### 成果・観光村づくりへの課題

- ①アイデアを具現化するための実施主体がはっきりしない。
- ②多くの人財がいるのに相互連携・協力が不十分ではないか。
- ③多くの活動・取り組みがあるのに相互連携・協力が不十分ではないか。
- ④Iターン者の技能・経験(経歴)・熱意等を活かす仕組みがよく見えない。
- ⑤一部の人々が過重負担にあえぎ、疲れているように見える。他方多くの村民の協力体制が不十分である。これらを行行動の指針としました。

観光ビジョン推進のための多様なキーパーソンは存在し、また取り組み・活動も多数あるのに、それらを連携・協力させ、効率的に機能させるための組織が欠けています。観光に限らず、むらづくりでは重要な役割を果たすIターン者(移住者)が活躍できる、ないしは活動を保証・促進するための仕組みがない、ということです。その結果、人口600人の小村であるがゆえに、一部の人々が過重負担に喘ぎ疲れている、印象を受けた。共同研究の調査目的は「観光ビジョン推進と地域づくり」であるが、それらを起動させるための仕掛けづくりの方法と、持続的に動いていくための仕組みのあり方を併せて「600人の売木観光むらづくりに向けて」活動を起こす必要性に迫られています。600人の村人のうち、165名が移住・共住者です。

### 【平成29年度活動実績】

#### 1.指導助言活動

長野県売木村では、業おこしをした「うるぎ炭焼きの会(森林・観光)」「うるぎヤギの会(農・商・工)」への助言と行動支援。「うるぎZUKU会議」では、山梨県小菅村との交流研修(テーマは地域運営組織について、売木村長、行政職員が参加)の実施。愛知・長野県境域開発協議会による愛知大学地域政策学部への寄附講座についての助言。

#### 2.行政からの依頼委嘱委員活動

長野県売木村「まち・ひと・しごと創生有識者委員会」、長野県飯田市「飯田市大学連携会議・学輪IIDA」、愛知県豊根村「まち・ひと・しごと創生戦略検討委員会」「豊根村総合計画審議会」、愛知県新城市「新城市生涯学習推進懇談会」、愛知県北設楽郡「北設公共交通活性化協議会」等の委員。

#### 3.行政、民間等の講演活動

長野県売木村、長野県飯田市、愛知県豊根村、愛知・長野県境域開発協議会(長野県天龍村)、三遠南信住民ネットワーク協議会(静岡県浜松市)。

## 工夫した点や苦勞した点

### 売木の観光要素分析

「観光むらづくり」は、観光施設の建設でなくても、「観光要素」に対する正確な認識をもつ必要があります。今回のアンケート調査では、「観光要素」として「観る」「交流する」「泊まる」「食べる」「買物する」「学ぶ」「遊ぶ」「やすらぐ」の8項目を設定し、それぞれ「現状認識」と「今後の必要性」をみました。各要素に対して5段階評価を付し(「非常にある」2点、「まあある」1点、「わからない」0点、「あまりない」-1点、「全くない」-2点)いずれかを(直感で)選択してもらった。なお「現状認識」と「今後の必要性」をそれぞれ回答してもらうことで、今後の観光むらづくりの方向性を探っています。プラスは正の評価、マイナスは負の評価として数値で表しています。

## ひとことPR

600人の売木観光・むらづくり —現住人(びと)・交流人(びと)・活動人(びと)・共住人(びと)の小さな“ずく”を出す—

## ○ 参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
○	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

### 関連ホームページ

愛知大学	<a href="http://www.aichi-u.ac.jp">http://www.aichi-u.ac.jp</a>
三遠南信地域連携研究センター	<a href="http://www.aichi-u.ac.jp/san-en">http://www.aichi-u.ac.jp/san-en</a>
売木村役場	<a href="http://urugi.jp">http://urugi.jp</a>

### 連絡先

メールアドレス	<a href="mailto:kibi[アットマーク]vega.aichi-u.ac.jp">kibi[アットマーク]vega.aichi-u.ac.jp</a>	その他	
---------	------------------------------------------------------------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る